

2024年度上半期財政状況

(上半期：4月～9月)

市では、皆さんに財政状況を知っていただくため、年に2回、
予算の執行状況や収入状況をお知らせしています。

☎ 財政課 Tel0299-90-1129

一般会計 市が基本的活動を行なうために必要な経費を賄う会計です。

歳入

科 目	予算額	収入済額	収入割合
市税	206億3,389万円	126億 525万円	61.1%
地方譲与税	9億 45万円	3億4,251万円	38.0%
地方消費税交付金	24億9,100万円	14億3,530万円	57.6%
地方特例交付金	5億4,007万円	5億5,308万円	102.4%
地方交付税	11億8,032万円	10億2,022万円	86.4%
分担金及び負担金	1億8,028万円	5,029万円	27.9%
国庫支出金	82億4,049万円	27億 938万円	32.9%
県支出金	30億4,157万円	2億4,149万円	7.9%
繰入金	46億6,416万円	0万円	0.0%
諸収入	7億4,210万円	1億7,994万円	24.2%
市債	28億 80万円	0万円	0.0%
その他	20億3,174万円	28億1,290万円	138.4%
合 計	474億4,687万円	219億5,036万円	46.3%

※その他は、各種交付金や使用料及び手数料、寄附金などです

歳出

科 目	予算額	支出済額	執行割合
議会費	2億6,269万円	1億3,524万円	51.5%
総務費	56億5,206万円	21億3,694万円	37.8%
民生費	185億2,745万円	77億5,064万円	41.8%
衛生費	52億5,641万円	17億8,473万円	34.0%
農林水産業費	9億4,072万円	2億4,186万円	25.7%
商工費	6億 870万円	2億6,376万円	43.3%
土木費	42億4,194万円	14億2,467万円	33.6%
消防費	31億2,581万円	12億8,289万円	41.0%
教育費	69億1,917万円	26億9,399万円	38.9%
公債費	18億9,557万円	9億4,270万円	49.7%
予備費	1,635万円	0万円	0.0%
合 計	474億4,687万円	186億5,742万円	39.3%

特別会計 特定の収入で特定の事業を行なう会計です。

会 計	予算額	歳入		歳出	
		収入済額	収入割合	支出済額	執行割合
国民健康保険	99億1,844万円	34億4,905万円	34.8%	33億4,175万円	33.7%
介護保険	59億7,498万円	28億2,447万円	47.3%	24億3,362万円	40.7%
後期高齢者医療	12億2,322万円	3億4,780万円	28.4%	2億6,570万円	21.7%
合 計	171億1,664万円	66億2,132万円	38.7%	60億4,107万円	35.3%

企業会計 民間企業と同様に、利用料金などの収益で運営しています。

水道事業会計	予算額	執行額	執行割合
収入	37億 954万円	13億4,462万円	36.2%
支出	46億6,725万円	22億5,724万円	48.4%

下水道事業会計	予算額	執行額	執行割合
収入	40億5,909万円	9億2,914万円	22.9%
支出	42億8,460万円	10億1,196万円	23.6%

化学総連茨城地方連絡会 10月15日(火)

☎ 秘書課
Tel 0299・90・1121

まちづくり懇談会

地区や団体の皆さんと市長が直接懇談し、さまざまなご意見やご要望を積極的に伺いました。皆さんの声をまちづくりに生かしてまいります。

※ご意見を一部抜粋して掲載

意見

地元から医療の道に進むことができるような専門学科を設ける計画はありませんか。

回答

専門学科を設ける計画はありませんが、小・中学生を対象に医療教育を始めています。命の尊さや医療について知ってもらう機会であるとともに、地元の学校から医科大学などに進学し、医療従事者を目指してもらいたいとも考えています。そして、神栖の医療を支えてほしいと願っています。また、医療を目指す学生に対しては修学資金貸与制度を設けていますので、今後、制度を利用した医師



意見

が増えてくると思います。引き続き、医療従事者として地元に戻ってきてもらえるよう、地域医療を推進してまいります。

意見

コミュニティバスは利用すると便利ですが、乗車率が低いです。例えば、お祭りなどのイベントにおいて、神栖中央公園などに来てもらうという時に、コミュニティバスを利用してもらうようPRしてみてはいかがでしょうか。乗車率の向上や渋滞緩和にもつながると思います。

回答

今回いただいたご意見をふまえ、バス会社の方なども委員に含まれる地域公共交通活性化協議会においても協議し、コミュニティバスをより多く

意見

道路関係は、警察・国・県などそれぞれ管轄があるということですが、道路の注意標示など、市ですぐ対応できる対策はありますか。

回答

道路関係のご要望などは市へいただき、とりまとめて管轄する機関へ対応を依頼してまいります。また、注意喚起看板など市で取り組めることは可能な限り対応してまいります。



第一リサイクルプラザで火災発生

☎ 廃棄物対策課 Tel0299-90-1148

11月14日、第一リサイクルプラザに搬入されたごみから火災が発生しました。原因を調査中ですが、ごみ処理施設における火災の原因の多くは、電池(特に小型充電式電池)、スプレー缶、ライターなどを不燃ごみとして出してしまったことなどによる分別間違いです。

火災が発生するとごみ処理施設の機能が停止し、長期間、ごみ処理ができなくなります。高額な修繕費が必要となるほか、最悪の場合、施設の作業員や利用者の人命に関わることもあります。ごみの分別ルールは必ず守りましょう。

ごみの分別や出し方を守らないと、重大な事故につながります。
分別ルールを必ず守りましょう。

